

エンドロールのつづき (2021)

LAST FILM SHOW

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 インド／フランス

色彩 Color

時間 112分

初公開日 2023/01/20

公開情報 松竹

映倫 G

【キャッチコピー】

「人生」という
物語が、いま 始まる

【解説】

インドの実力派監督パン・ナリンが映画に夢中になった自らの少年時代の実体験を基に描き、各地の映画祭で評判を呼び、みごとアカデミー賞のインド代表にも選ばれたノスタルジック・ムービー。映画の上映がデジタルに移行する時期のインドの田舎町を舞台に、一人の少年が映画と出会い、その虜になっていく姿を、映画とフィルムへの愛を込めて瑞々しく綴る。主演はオーディションで選ばれたバヴィン・ラバリ。共演にリチャー・ミーナー、バヴェーシュ・シュリマリ、ディペン・ラヴァル。

2010年のインド、グジャラート州の田舎町。学校に通いながら、父の店でチャイ売りの手伝いをする9歳の少年サマイ。ある日、いつもは映画を低俗なもののみなしていた父が、特別に家族を映画館に連れていってくれることに。ギャラクシー座という街の映画館で、スクリーンに映し出される初めて見る世界に興奮するサマイ。以来、映画にすっかり心奪われた彼は、学校をさぼってギャラクシー座に忍び込むようになり、やがて映写技師のファザルと出会う。そしてサマイの母が作るおいしいお弁当を気に入ったファザルの提案で、お弁当との交換を条件に、映写室からタダで映画を観られるようになったサマイだったが…。

【クレジット】

監督	パン・ナリン	Pan Nalin	
製作	パン・ナリン	Pan Nalin	
	ディール・モーマーヤー	Dheer Momaya	
	マルク・デュアル	Marc Duale	
脚本	パン・ナリン	Pan Nalin	
撮影	スワピニル・S・ソナワネ	Swapnil S. Sonawane	
音楽	シリル・モーリン	Cyril Morin	
出演	バヴィン・ラバリ	Bhavin Rabari	サマイ
	リチャー・ミーナー	Richa Meena	母
	バヴェーシュ・シュリマリ	Bhavesh Shrimali	ファザル
	ディペン・ラヴァル	Dipen Raval	父